

市民1人当たりの 借金はいくら？

借金（市債）残高
38万272円

■総残高は188億6,148万円です。
■令和4年3月末の住民基本台帳人口（49,600人）で算出しています。

市では主に公共施設の整備を行う時などに借金をします。令和3年度は、新設小学校設置事業や公共施設等総合管理計画事業のほか、中学校施設整備改修事業、消防設備整備事業、市道整備事業などを行い、その財源として借金をしました。将来の財政負担を増やさないためにも計画的に借入れを行うよう努めています。

市民1人当たりの 貯金はいくら？

貯金（基金）残高
21万3,512円

■総残高は105億9,021万円です。
※出納整理期間中の積み立てを含みません。
■令和4年3月末の住民基本台帳人口（49,600人）で算出しています。

市の貯金（基金）は、将来の緊急の支出に備える財政調整基金のほか、ふるさとづくり基金、義務教育施設整備基金など、さまざまな目的で積み立てた基金があります。将来にわたって安定的な財政運営を行うため、計画的な運用に努めています。

財政調整基金残高の推移

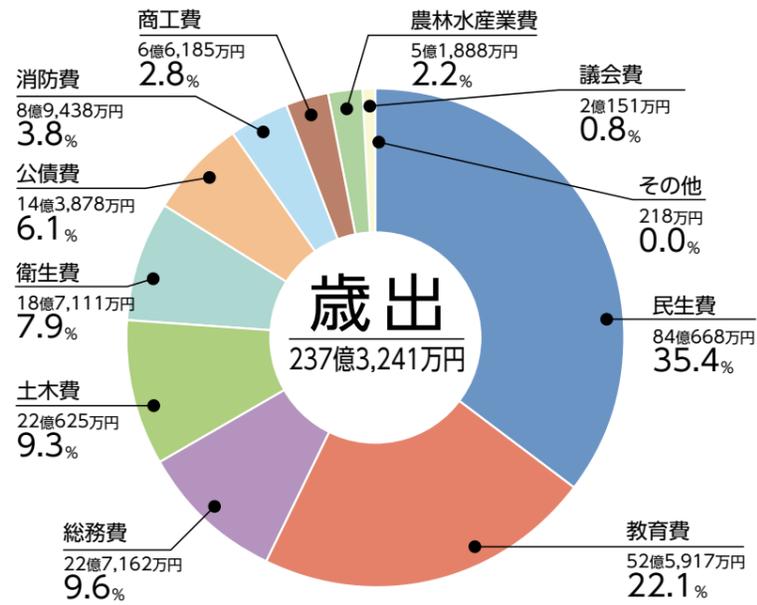
令和3年度末	82億8,546万円
令和2年度末	75億8,965万円
増減額	+6億9,581万円

【主な増減理由】

令和2年度決算において発生した剰余金や、令和3年度において地方交付税および各種交付金などの増加などにより、6億9,581万円を積み立てました。

令和3年度は取り崩しはありませんでした。

一般会計歳出決算額 237億3,241万円



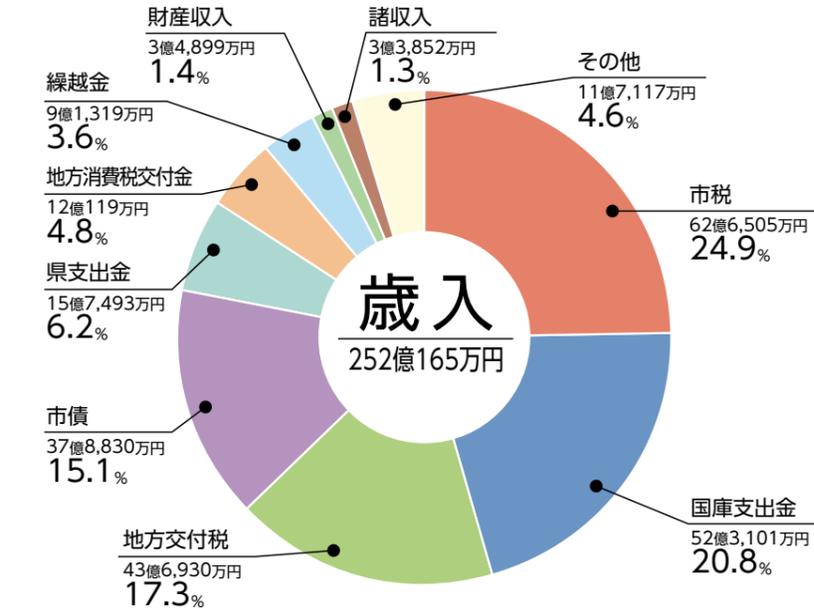
内訳	用語解説	決算額 (令和3年度)	前年度決算額 (令和2年度)	増減額 (前年比)
民生費	高齢者、障がい者、児童などの福祉経費	84億668万円	127億460万円	-42億9,792万円
教育費	小・中学校、幼稚園などの教育関係経費	52億5,917万円	44億9,458万円	+7億6,459万円
総務費	市の全般的な管理事務費、選挙費など	22億7,162万円	22億896万円	+6,266万円
土木費	道路や河川、公園などを整備する経費	22億625万円	22億1,975万円	-1,350万円
衛生費	環境保全、健康増進などの経費	18億7,111万円	14億3,154万円	+4億3,957万円
公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用	14億3,878万円	13億5,452万円	+8,426万円
消防費	消防や災害対策のための経費	8億9,438万円	12億2,640万円	-3億3,202万円
商工費	商工業や観光の振興のための経費	6億6,185万円	6億7,368万円	-1,183万円
農林水産業費	農林水産業の振興を図るための経費	5億1,888万円	5億3,154万円	-1,266万円
議会費	議会運営のための経費	2億151万円	2億220万円	-69万円
その他	労働費、災害復旧費、諸支出金	218万円	232万円	-14万円
合計		237億3,241万円	270億5,009万円	-33億1,768万円

一般会計歳出

新 設小学校設置事業の増加や、中学校施設整備改修事業の施設改修工事費の増加などにより、教育費が7億6,459万円増加しましたが、歳入が終了したことにより、歳出全体では前年度より33億1,768万円の減少となりました。

新設小学校設置事業や中学校施設整備改修事業などの実施により教育費が増加

一般会計歳入決算額 252億165万円



内訳	用語解説	決算額 (令和3年度)	前年度決算額 (令和2年度)	増減額 (前年比)
市税	皆さんに納めていただいた税金	62億6,505万円	63億2,348万円	-5,843万円
国庫支出金	市の事業へ国から交付されたお金	52億3,101万円	92億1,832万円	-39億8,731万円
地方交付税	全ての自治体が一定水準のサービスができるよう国から交付されたお金	43億6,930万円	38億6,618万円	+5億312万円
市債	国や金融機関から借りたお金	37億8,830万円	33億5,970万円	+4億2,860万円
県支出金	市の事業へ県から交付されたお金	15億7,493万円	17億7,926万円	-2億433万円
地方消費税交付金	消費税を財源として交付されたお金	12億119万円	11億383万円	+9,736万円
繰越金	前年度決算の結果、繰り越されたお金	9億1,319万円	8億7,945万円	+3,374万円
財産収入	市が有する財産の貸付、売り払いなどによって得た収入	3億4,899万円	3億4,724万円	+175万円
諸収入	預金利息など他の収入科目に含まれない収入	3億3,852万円	3億3,912万円	-60万円
その他	各種交付金、使用料、手数料など	11億7,117万円	13億8,973万円	-2億1,856万円
	上記のうち寄付金の額	(4,051万円)	(1億2,445万円)	(-8,394万円)
合計		252億165万円	286億631万円	-34億466万円

一般会計歳入

令 和3年度限りの臨時費目の創設により、普通交付税が追加交付となり、地方交付税が5億3,122万円増加しましたが、令和2年度に実施した特別定額給付金の給付事業として国から交付された国庫支出金の減少などから、歳入全体では前年度より34億4,666万円の減少となりました。

普通交付税の追加交付による地方交付税の増加

令和3年度 決算報告

令和3年度の各決算がまとまりましたので報告します。一般会計における歳入決算の総額は、252億165万円、歳出決算の総額は237億3241万円で、その差引額は、14億6924万円となりました。そのうち、翌年度へ繰り越した事業の財源を除いた剰余金のうち、6億6900万円を財政調整基金に積み立て、残りを翌年度へ繰り越しました。

問い合わせ先 財政課 財政係 ☎(76)0963





特別会計

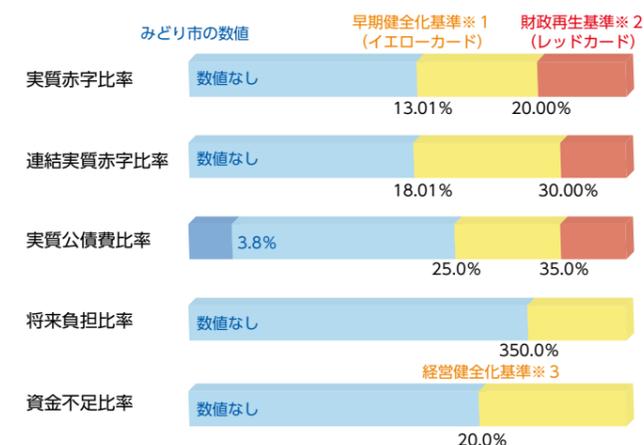
会計名	歳入	歳出
太陽光発電事業特別会計	6,790 万円	3,400 万円
鉄道経営対策事業特別会計	5,030 万円	5,030 万円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	58 億 329 万円	56 億 9,817 万円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	1 億 193 万円	9,635 万円
後期高齢者医療特別会計	5 億 8,686 万円	5 億 8,525 万円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	44 億 1,611 万円	43 億 3,206 万円
戸別浄化槽事業特別会計	417 万円	391 万円
農業集落排水事業特別会計	7,446 万円	7,241 万円
企業用地整備事業特別会計	150 万円	0 万円
富弘美術館事業特別会計	1 億 1,277 万円	1 億 420 万円
競艇事業特別会計	1,706 億 6,210 万円	1,704 億 4,302 万円

事業会計

会計名	区分	収入	支出
簡易水道事業会計	収益的収入および支出※①	1 億 3,173 万円	1 億 3,002 万円
	資本的収入および支出※②	2,665 万円	3,838 万円
公共下水道事業会計	収益的収入および支出※①	6 億 3,948 万円	5 億 8,811 万円
	資本的収入および支出※②	4 億 5,341 万円	6 億 6,533 万円

※① 一事業年度の企業の経営活動に伴い、発生する全ての収益とそれに対応する全ての費用
 ※② 企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良および建設改良に係る企業償還金などの支出とその財源となる収入

健全化判断比率と資金不足比率



健全化判断比率と資金不足比率
 健全化判断比率と資金不足比率を維持
 令和3年度決算に基づき算定を行った結果、みどり市の指標はいずれも定められた基準以下であり、適正な財政運営であるといえます。今後も、健全財政を維持しながら、効率的な財政運営に努めていきます。

用語解説

指標	内容
健全化判断比率	
実質赤字比率	福祉、教育、まちづくりなど、市の行政事務本体における赤字の程度を示す指標（数値なしは赤字ではないことを指します。）
連結実質赤字比率	市の全ての会計の黒字と赤字を合算し、赤字額が黒字額を上回る場合にその程度を示す指標（数値なしは赤字ではないことを指します。）
実質公債費比率	市の一般会計などが負担する公債費およびこれに準ずる経費の大きさを示す指標
将来負担比率	将来支払っていく可能性のある負担が、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標（数値なしは将来支払っていく可能性の高い負担が、基金などの預金や毎年の税金などで十分に賄えることを指します。）
資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の大きさを示す指標（数値なしは資金不足ではないことを指します。） ※みどり市の公営企業は、太陽光発電事業特別会計、戸別浄化槽事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、企業用地整備事業特別会計、簡易水道事業会計、公共下水道事業会計で、いずれも資金不足ではありません。

※1) 早期健全化基準…健全化判断比率の4つの指標のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合、早期健全化団体として自主的な努力による財政の健全化が求められます。
 ※2) 財政再生基準…健全化判断比率の将来負担比率を除く3つの指標のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合、財政再生団体として国などの関与を受けながら確実な財政の再生が求められます。
 ※3) 経営健全化基準…公営企業の資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合、経営健全化団体として自主的な努力による財政の健全化が求められます。

① 健やかに生きる安心のまちづくり

- 保育園・認定こども園へ支払った委託料や給付費 …13 億 310 万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種に要した経費 …3 億 6,449 万円
- 桐生厚生総合病院への負担金・補助金など …1 億 5,723 万円



立懸第1保育園

③ 安全で安心して生活できるまちづくり

- 常備消防事業の委託 …6 億 9,309 万円
- 桐生市清掃センターへごみ処理の委託 …1 億 1,542 万円
- 住宅用新エネルギーシステムの設置に対する補助 …701 万円



桐生みどり消防署

⑤ 質の高い利便性あるまちづくり

- 道路の新設や拡幅などに要した経費 …7 億 1,701 万円
- 道路の維持補修などの対応 …1 億 7,063 万円
- 雨水排水対策などに要した経費 …1 億 370 万円



道路補修工事の様子

⑦ 市民と行政が協働してまちをつくる

- 地域おこし協力隊事業 …6,055 万円
- 行政区の活動助成金 …4,391 万円
- マスコットキャラクター「みどモス」の運用に要した経費 …95 万円

② 人を育て文化をはぐくむまちづくり

- 笠懸西小学校の建築工事費など …29 億 3,078 万円
- 小・中学校の施設改修工事 …1 億 5,174 万円
- GIGA スクール構想の推進のための経費 …572 万円



笠懸西小学校

④ 潤いある快適なまちづくり

- 電話でバスおよび東町路線バスの運営 …5,358 万円
- わたらせ渓谷鐵道に対する運行維持費の補助 …5,282 万円
- 合併処理浄化槽の設置にかかる費用の補助 …4,516 万円



電話バス

⑥ にぎわいと活力あるまちづくり

- 市内経済活性化対策のため実施したみどモス応援券の配布に要した経費 …2 億 6,203 万円
- 新型コロナウイルス感染症対策を実施する事業者に対する支援 …5,434 万円



みどモス応援券

⑧ 自立した都市経営を実現する

- 公共施設個別施設計画策定および事業推進に要した経費 …1 億 4,847 円
- ふるさと思いやり基金への積み立て …2,622 万円
- 諸証明のコンビニ交付事業に要した経費…1,805 万円

《令和3年度に実施した一般会計の主な施策・事業》